

① 夜空  
② 切ない  
③ 小麦

④ 道場  
⑤ 夏休み

2  
1 A イ  
B ア  
C ウ

2  
チ  
1  
エ

4  
や  
み  
つ  
き

5  
ア 2  
イ 1  
ウ 2

3  
1 目  
2 大声  
3 六

4  
A ウ  
B エ  
C ア

5  
I ゆ  
め  
み  
だ  
け  
II 食  
べ

6  
六字 お  
お  
七字 乗  
り

(※5 完答)

配点	
①	各2点×5=10点
②~③	各5点×18=90点
<計>100点	

① 小学校二年生までに学習した漢字から出題している。①「夜」も「空」も形に注意して書こう。②「切ない」は「悲しみや孤独に胸をしめつけられるような気持ち」という意味である。「切なさ」のように使うこともある。③「麦」は下の部分を「又」と書かないこと。④「道」「場」のどちらも画数が多いので形に気をつけて書こう。⑤「夏」は下の部分を「又」にしないうように気をつけよう。

②

1 A (A) の後に書かれていることの理由が (A) の前に書いてある。  
B (B) の前に自分がトライを取ったときの気持ち、(B) の後にほかの人がトライを取ったときの気持ちがな  
らべて書かれている。

C (C) の前ではトライを取ったときのうれしさについて書いているが、(C) の後でつけくわえる形で、ト  
ライを取れたのは仲間のおかげであることを忘れてはならないと釘をさしている。

2 ラグビーを知らない人でも本文を読めば「トライ」が何かはわかる。——線①から離れたところに答えとなる部分があるの  
で、見つけるのに時間がかかったかもしれない。本文後ろから四行目に「……ことで、トライになります」とあるので、「…  
…」の部分に書かれていると見当がつく。

3 トライを取ったときの喜びの大きさ、感動をたとえを用いて説明しているところである。あまりのうれしさにまるで体に電  
気が通ったような感じになったようすを述べている。「鳥肌」はふつう「走る」ではなく「立つ」という。

4 「やみつき」は「ものごとくに熱中してやめられなくなる」という意味のことばである。

5 ア 筆者がラグビーに魅力を感じているのは確かだが、第一段落に「まったく違う喜びがありました」とあることから、サ  
ッカーよりおもしろいというのはいすぎだろう。

イ 「ラグビーはトライを取り合うスポーツ」で「どんなトライであっても、それはチーム全員で取ったトライであるとい  
うことを忘れないください」と本文に書いてあった。

ウ (B) の後に、ほかの選手のトライでもうれしさを感ずると書いてあった。

③

1 からだの部分であらわすことばを使った言い回しはたくさんあるので、知らなかったものはそのつど覚えていくようにしよ  
う。

2 「おばあさんは、売れる気があるのかないのか、ただしずかにすわっているきりでした」と反対のようすなので「熱心に売っ  
ている」「大きな声を出して」といったようすをさがせばよい。——線②の直前に「でも」とあるので、そこより前からさが  
すと、本文一～二行目に「大声で自慢しながら大根やさといもを売っている」がある。

3 本文に出てくる順に「しいたけ」「しめじ」「わらいだけ」「あくびだけ」「なききのこ」「ゆめみだけ」の六種類になる。

4 A (A) の前にある「これも毒が入ってるの?」という問いに対する返事である。直後に「すこし」とあるので、答  
えは「はい」にあたることばになる。

B (B) の前にある「楽しいきのこね」に対して「楽しいかどうか」とはっきり答えられていないことから考える。

C (C) の後にある「おもしろそうじゃないの」につながることばである。

5 ——線④をふくむ一文を見ると、「だって、夢にはその人のこれからの姿が出てくる」とあるが、なぜ夢をみるのかという  
と「ゆめみだけ」を「食べ」たからである。

6 どうしてもほしい気持ちのときにどうなるのかをイメージしてさがそう。六字のほうは本文後ろから二行目「おいそぎで」、  
七字のほうは本文後ろから三行目「乗り出すように」である。